

武雄市行政改革プランの主な成果〔平成30年度〕

本市では、市民と行政が共に力を合わせ、少子化と人口減少を克服し、将来にわたり活力ある地域を維持していくため、「行政サービスの最適化」、「組織と人」、「財政基盤の強化」を改革の戦略と位置づけ、平成29年3月に第3次行政改革プラン(平成28年度～平成32年度)を策定しました。

このプランに基づき、迅速に対応するコンパクトな組織体制、持続力ある健全な財政運営を目指し、行政改革の39の具体的な取組項目を定めて取り組んでいます。このたび平成30年度の進捗状況をまとめましたので、主な成果をお知らせします。

行政サービスの最適化

アセットマネジメントの推進

- ◆公共施設等総合管理計画の住宅施設編を平成31年3月に策定したほか、スポーツ施設編の策定に着手しました。
- ◆庁舎の移転に伴い、旧庁舎・支所等の活用について検討・協議を行いました。

組織と人

組織改革

- ◆組織を簡素化し効率的に運営するため、両支所を廃止し、市民サービスセンターを設置しました。
- ◆消防団体制の見直しにより平成30年4月より1町1分団とし、同年6月より組織の統廃合について協議を行う委員会を設立しました。

定数管理

- ◆再任用職員の活用等による人員削減を行いました。(4名減)

人材育成

- ◆行政手続きの利便性向上のため、ワンストップ窓口サービスを導入し、職員に対して接遇研修を実施しました。

財政基盤の強化

歳出の抑制

- ◆職員数削減、時差出勤の推進等により人件費を削減しました。 **約3500万円**
(*職員人件費については一人当たり年平均750万円で算出)

自主財源の確保

- ◆ふるさと納税を推進しました。 寄附額：19億7000万円（前年比約3倍）
- ◆滞納整理機構との共同差押等により滞納整理を強化しました。 約500万円
- ◆遊休資産を売却しました。 1500万円
- ◆公用車を削減しました。 2000万円
- ◆職員駐車場の料金を見直しました。 180万円
- ◆基金を運用することで利子収益を生み出しました。 2100万円

公営企業・特別会計等の経営健全化

- ◆上水道事業：事業の広域統合に向けた協議を行いました。
また、佐賀西部広域水道からの受水を抑制し、新規起債を抑制しました。
2000万円
- ◆競輪事業：平成13年度以来17年ぶりとなる、一般会計への繰出しを実施しました。
8000万円
- ◆新たな工業団地（東川登町）の整備に向けた実施設計等を行いました。

取組項目以外の実施状況

行政改革プランの取組項目以外でも、少子高齢社会において市民一人ひとりが自分らしく幸せに生きられる、将来にわたり活力ある地域を維持していくために、社会構造の変化に対応したサービスの拡充等を実施しました。

- ◆高齢者の元気を応援するため、高齢者福祉3億円政策パッケージとして、お出かけ応援券の配布、プレミアム付商品券の発行、コミュニティ創出に関する補助金交付を実施しました。
- ◆武雄競輪場公園がオープンしました。（平成30年4月）
- ◆病児・病後児保育施設を開設しました。（平成30年4月）
- ◆小中学校に防犯カメラを設置し、安心して学べる環境づくりを推進しました。
- ◆子育て支援のため、潜在保育士等の再就職のための研修会を実施し、保育士や放課後児童クラブ支援員の確保に努めました。
- ◆家族の絆や地域との交流を醸成するため、キッズウィークを実施しました。
- ◆障がい児や不登校児への支援拡充や通級指導教室の追加新設を行いました。
- ◆小中学校の普通教室における空調設置率が100%になりました。
- ◆介護職や保育士等への就労を支援するため、就職支援補助金を交付しました。